

令和3年度

事業可能性評価 A評価事業

公益財団法人岐阜県産業経済振興センター

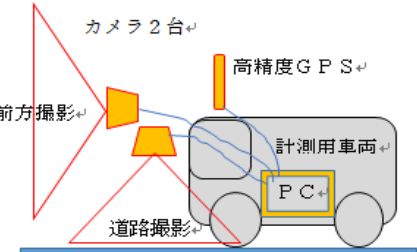
目次

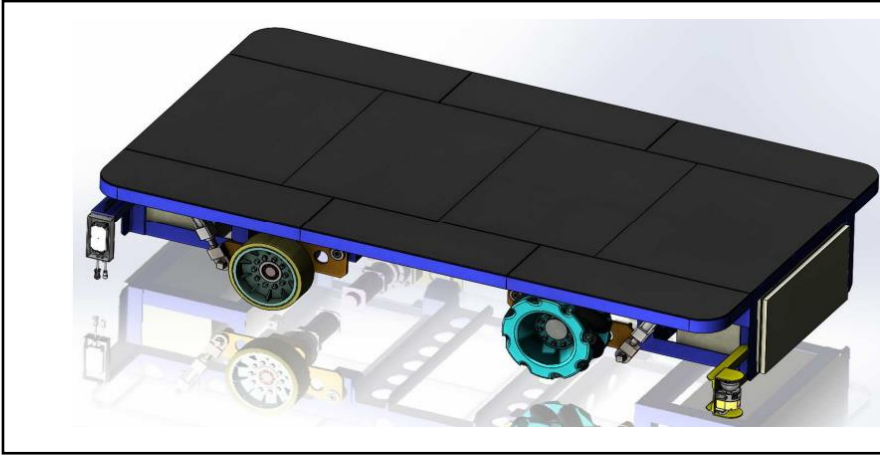
(五十音順)

道路標示施工自動システムの開発 (Working Time Reform) アース・クリエイト有限会社	 1
スラム式大型金型交換台車開発 株式会社セキテック	 2
反転排出機能付き重量箱フォークの販売 株式会社津田工業	 3
地域材流通と木工旋盤普及によりものづくりの豊かさを広める事業 合同会社ツバキラボ	 4
宮師がつくるマイひしゃくで新しい参拝スタイルを実現 株式会社唐箕屋本店	 5
高性能ダンボール材 Woody Rich®製（新素材）キャットハウス&トイレ 「CAT CUBE™」新製品販売事業 有限会社長井紙工	 6
アウトドア商品の製造・販売を通じた『Hot Camp』ブランディング事業 有限会社早野研工	 7
【事業可能性評価とは】 【A評価（事業可能性大）企業への支援策】 【これまでにA評価を受けた企業数】 【A評価を受けた企業の声】 【お問い合わせ】	 8



今年度は7社が
受証しました！

事業名	道路標示施工自動システムの開発 (Working Time Reform)
概要・特徴	【概要】 この業界は、昨今の少子高齢化に伴う労働者不足や長時間労働、3Kというイメージといった課題があり、なり手が少ない状況です。こうした状況下において、業界のイメージ改革、働きやすい環境づくりを目指し、若手や女性（特に育児ママ）に活躍の場を提供したいと考えました。そこで、新たに道路標示施工自動システムを開発し、業務の簡略化・工数削減等の業務改善を行い、より専門性や特殊性を磨き、若手や女性の雇用環境拡大と利益率向上を目指します。 開発の動機と目的 1. 道路交通法施行以降、道路標示施工方法は変わっていない。 2. 建設業の3Kイメージの改革。 3. 少子高齢化に伴う人財不足。 4. 工事従事者の安全確保。 5. 女性活躍推進。 6. 安全対策のスピード化。 【特徴】 事前調査として車両にカメラとGPSを搭載し、施工対象道路の現場で車両を走行させ、道路映像データを収集し、デジタル化することで事務所のパソコン上で道路状況の調査が可能となります。また、道路デジタルデータを元に、施工範囲を自動積算する見積支援システム及びデジタルデータを利用して道路標示を施工するシステムの開発を行います。 ① 現場調査のデジタル化 車両に前方撮影カメラ、道路下面撮影カメラ、高精度GPS、記録用PCを装置化し、施工対象道路を位置情報とともにデジタル撮影記録する。 開発ポイント：移動速度60km/hでブレないシャッター速度と映像同期合わせ技術が必要。  ② 位置だしと作図のデジタル化  社内導入後には、同業他社への販売展開を計画します。
企業名	アース・クリエイト有限会社
代表者	代表取締役社長 岩田 良
HP	http://www.nlg.co.jp
所在地	岐阜市六条北4丁目10番19号
電話	058-273-2612
E-mail	iwata@nlg.co.jp

事業名	スラム式大型金型交換台車開発
概要・特徴	【概要】 ○弊社は、各種産業機械等の製造を行っています。今回の事業は、自律走行を可能にしたスラム式大型金型交換台車を開発し、製造を行うものです。 ○弊社の大型金型交換台車は、自動車関連企業等に導入されています。 ○まだ、知名度という点では高くありませんが、販売に関して総合物流メーカーのネットワークを活用して販売促進していく予定です。 【特徴】 ①従来の磁気テープ等のガイドを使用しての誘導走行ではなく、ソフトにより走行経路を決定する自律走行が可能⇒ガイドにかかる工事費が不要となります。 ②従来の誘導走行のような固定されたルートではなく、ソフトにより自動算出したルートで走行が可能⇒レイアウト変更もお客様で対応可能で、工事費が不要となります。 ③従来の誘導走行のように障害物を検知すると即停止するのではなく、障害物を検知すると一時停止し、ルートを再検索して走行を継続⇒生産性・生産効率が低下しません。 ④方式の異なる複数の台車を統合制御する上位システムも導入可能⇒交通管制機能で生産性・生産効率がアップします。  予想図

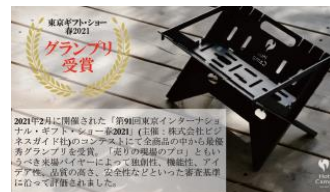
企業名	株式会社セキテック		
代表者	代表取締役 中村 克史		
HP	http://www.sekitech-gifu.co.jp		
所在地	関市新迫間16番		
電話	0575-24-6631	E-mail	sales@sekitech-gifu.co.jp

事業名	反転排出機能付き重量箱フォークるんの販売		
概要・特徴	【概要】  フォークリフト用の重量物運搬及び反転排出機能付きの重量箱です。   		
	【特徴】 製造業では、重量物の搬入のために、フォークリフトが必須の導入設備となります。今回の提案は、そのフォークリフトを利用した反転排出機能を持たせたボックスです。 一般には重量物のフォークリフトの作業は、下からすくい上げるものですが、フォークるんは、ボックス手前及び奥側の上部にフックがあり、リフトの爪をそのフックに差し込み、吊り上げるようにして運搬します。手前フックは、L型になっており、箱底面に蝶番で接続されています。 反転排出したい場所で奥側のフックから爪を外し、手前フックを持ち上げると、自重のみで反転排出できます。さらに、フォークの爪を下ろし、ボックスが水平の床に着地すると、箱の支点が順に移り変わり、各体勢で元の状態に戻るよう重心・作用点・支点の位置が工夫されています。フォークリフトのオペレーションのみで、これらの機能を完結させる製品はなく、特許も出願済みです。 通常、回転フォークのオプションが100万円ほどしますが、フォークるんの生産には、当社の塗装レス・溶接レスのスピードファスナー工法を利用することができるため、販売予定価格は数万円となり、絶対的なコスト競争力があります。		
企業名	株式会社津田工業		
代表者	代表取締役社長 津田 義久		
HP	http://www.tsuda-kogyo.co.jp		
所在地	各務原市金属団地80-4		
電話	058-371-1422	E-mail	main@tsuda-kogyo.co.jp

事業名	地域材流通と木工旋盤普及によりものづくりの豊かさを広める事業		
概要・特徴	【概要】当社は、「地域資源を活用し、人々の暮らしを豊かに」をミッションとして掲げ、2017年5月に創業。岐阜県産材の木材を積極的に使うことを宣言し、木製品の製造を行うと同時に、一般の方を対象とした木工教室・シェア工房の運営を行っています。 1. ものづくりの豊かさを広める事業（シェア工房、教室、ツール販売、メディア運営） 2. 地域材から価値を生む事業（木製品製造、OEM、ODM、地域材活用コンサルティング） 【特徴】全国的にも珍しいシェア工房事業と教室事業を組み合わせた事業モデル 当社が運営する会員制木工シェア工房では、まず会員になる際にレッスンを受講し、その後、月額料金で工房を利用できるようになります。レッスンは、木工機械を使い、家具を制作するコースと木工旋盤の技術を習得するコースの2つがあります。全国的にも、一般の方がプロ仕様の機材を使えるシェア工房は珍しく、さらに木工旋盤の教室として運営しているところは、全国に3カ所しかなく、東海エリアでは弊社のみです。 「自分でつくり、暮らす」自らの手でつくり、それらを使い、暮らす。暮らしの中に広がるリアリティ。そこに豊かさがあります。そして、地域にある資源を使うことも大事なこと。「身近な資源を使い、自分でつくる」…それを当たり前にするためにシェア工房を立ち上げました。 ＜当社製作 各務原市役所キッズスペース＞ ＜国内初の木工旋盤教本＞ ＜工房・教室の様子＞		
企業名	合同会社ツバキラボ		
代表者	代表社員 和田 賢治		
HP	https://tsubakilab.jp/		
所在地	岐阜市椿洞1228-1		
電話	058-237-3911	E-mail	hello@tsubakilab.jp

事業名	宮師がつくるマイひしゃくで新しい参拝スタイルを実現		
概要・特徴	【概要】 ➤ 神社仏閣における手水で使用していただく自分専用の柄杓(ひしゃく)です。 ➤ 日本の伝統文化を守りつつ、現代のニーズにマッチした商品です。 ➤ 持ち運びできるコンパクトなサイズで、長く愛用していただけるように、壊れにくく高品質で、デザイン性も兼ね備えた柄杓に仕上げてあります。 東濃ヒノキ削出し加工 従来品 第1弾モデル 第2弾モデル (新商品) 【特徴】 ➤ 創業128年目の社殿・拝殿等の神社建築物を手掛ける宮大工・宮師集団企業が、高い木材加工技術力を生かして開発した商品です。 ➤ 新型コロナウイルス感染防止のため、全国の神社仏閣の手水舎から柄杓が撤去された事態を目の当たりにした、四代目社長がマイ柄杓を発案し、開発を開始しました。 ➤ 2020年11月、第1弾モデルをクラウドファンディング「マクアケ」にて販売したところ、400名以上の方が500本以上を購入され、メディアでも多数取り上げられました。 ➤ 第1回のクラウドファンディングで得られたお客様の声を生かし、第2弾モデルの開発に取り組み、2021年9月より開始した第2回クラウドファンディングにて目標金額の800%の売上を達成しました。 ➤ 2021年12月より第2弾モデルもオンライン販売を開始する予定で、現在、鋭意製作に取り掛かっております。		
企業名	株式会社唐箕屋本店		
代表者	代表取締役社長 小保田 庸平		
HP	http://tomiyahonten.com		
所在地	岐阜市美園町3丁目4番地		
電話	058-263-3311	E-mail	y-kobota@tomiyahonten.com

事業名	高性能ダンボール材 Woody Rich® 製（新素材）キャットハウス&トイレ 「CAT CUBE™」 新製品販売事業		
概要・特徴	【新素材の特徴】 日本初！高性能ダンボール材Woody Rich®（新素材）を開発。 特徴は3つ、 ・表面撥水加工 ＊ダンボールなのに水に強い（水はじきが良く、消臭スプレーをかけ、拭き取れます。） ・抗菌・抗ウイルス（S I A A 認証取得）＊安心、衛生的（猫カリシウイルスにも効果が認められました。） ・リアルな木目（インテリアとして居住空間に馴染みます。） 【新商品の特徴】 新素材Woody Rich®の特徴を活かし、産学連携で名古屋造形大学の学生と共同設計した、六角形で組合せ自由に楽しめる「ハニカムデザイン」のキャットハウス&トイレ「CAT CUBE™」。特徴は3つ、 ・C a r r y コンパクトで持ち運びやすい。 ・C l e a n 抗菌・抗ウイルスで安心、衛生的。 ・C l a s s i c リアルな木目調でインテリアに馴染むデザイン。   ＊環境に配慮したダンボール素材でサステナブル！    		
企業名	有限会社長井紙工		
代表者	代表取締役社長 長井 浩司		
HP	http://www.nagai-s.jimdoofree.com		
所在地	関市武芸川町谷口40番地		
電話	0575-46-3065	E-mail	nagaisiko@iris.ocn.ne.jp

事業名	アウトドア商品の製造・販売を通じた『Hot Camp』ブランディング事業
概要・特徴	【概要】 ◇ 本事業では、BtoB向けの金属加工製品に特化してきた加工技術・ノウハウを、BtoC向け商品の設計・開発に活用し、既存設備をフル活用して商品開発を進めてきました。企画・開発段階より、3D/CADを活用したフロントローディング設計と試作品による実証試験を繰り返しながら、商品コンセプトと利用者イメージを練り上げた逸品です。 ◇ ・おいしく、お肉が調理できる『極厚プレート』 ・家族でアウトドアを楽しみ、気軽にキャンプ気分を味わう焚火台『Fire Base』 上記2商品を中心に、空前のキャンプ・アウトドアブームという時流に乗った商品展開をこの事業で進めていきます。 ◇ 機能性とターゲットを絞った商品展開を進めることで、『Hot Camp』ブランドを確立し、商品の利用シーンを提案しながら、作り手のこだわりと思い入れを強く出していきたいと考えております。 【特徴】 ◇ メイン商品の焚火台『Fire Base』は、板金加工の技術を活かし、簡単組立・コンパクト収納を実現した使い勝手の良い焚き火台です。ソロキャンプ向けのSサイズとファミリー向けのLサイズを展開。組立も収納も簡単かつ楽しくなるようなギミックを盛り込んでいます。家族でのアウトドアをより気軽に、より思い出深いものにする、そんな焚き火台を目指して製作しました。 ◇ 初めて取り組む自社ブランドのBtoC商品であり、社員全員で『待ち工場から価値工場』を掲げて取り組んできた商品開発は、クラウドファンディングや東京国際見本市でのグランプリ受賞を通じて高い評価を受けており、ブランドの知名度を高めました。  極厚プレート   組み立て簡単、焚火台。 Fire Base ファイアベース  家族の思い出を より豊かに

企業名	有限会社早野研工		
代表者	代表取締役 早野 文仁		
HP	https://hayanokenko.co.jp		
所在地	大垣市多芸島町1-86-2		
電話	0584-89-6598	E-mail	hayano@quartz.ocn.ne.jp

【事業可能性評価とは】

企業の事業プランを、現役の経営者も含めた複数の専門家からなる評価委員が、事業の有望性・技術の先端性・発展性等を総合的に分析し、事業化の可能性をA、B、Cの三段階で評価します。

応募された企業には、当センターが継続的なアドバイス等、評価の段階に応じて必要な支援を行います。特にA評価を受けた企業は「金融機関・マスコミへの積極的紹介」などの支援を得ることができます。

【A評価（事業可能性大）企業への支援策】

- ① 金融機関・マスコミへの積極的紹介
- ② 当センターが実施する、投資家や融資関係者向けのビジネスプラン発表会への優先的出席
- ③ 岐阜県の中小企業資金融資制度の対象（長期固定の低金利、信用保証料の一部を県が負担）
※ 融資を受けるには、別途、金融機関及び県信用保証協会の審査が必要となります。
- ④ その他、当センターによる積極的な事業支援

【これまでにA評価を受けた企業数】

平成14年度	1社	平成15年度	4社	平成16年度	6社	平成17年度	8社
平成18年度	7社	平成19年度	10社	平成20年度	8社	平成21年度	7社
平成22年度	7社	平成23年度	9社	平成24年度	9社	平成25年度	17社
平成26年度	11社	平成27年度	14社	平成28年度	14社	平成29年度	12社
平成30年度	8社	令和元年度	10社	令和2年度	7社	令和3年度	7社

合計 延べ176社（実数159社）

【A評価を受けた企業の声】

- PR効果・販路開拓
「新聞・テレビ等、マスコミに取り上げられたことで、新たな取引先の開拓に結びついた」
「今まで低迷していたが、問い合わせ・引き合いが、数十倍に増えた」
- 資金調達
「金融機関からの新規融資に結びついた」「補助金が採択された」
- モチベーション
「社員のモチベーションアップ・やる気アップにつながった」
- その他、効果
「会社・商品の信用力が増し、営業しやすくなった」

【お問い合わせ】

公益財団法人岐阜県産業経済振興センター 産業振興部 総合支援課
TEL : 058-277-1080 E-mail : sien@gpc-gifu.or.jp